

<お知らせ>令和9年度から、一部の曜時限欄の表記が変わります。

曜時限欄の表記をより分かりやすいものにするため、令和9年度から、一部の曜時限の表記を次のとおり変更します。

①「随時」を「応談」に統合します。

また、統合後の「応談」の英語表記を「by arrangement」とします。

理由：「随時」と「応談」はこれまで似た意味合いで使用されてきており、統合した方が分かりやすくなるため。

(これまで)

随時 by request	実験指導的な科目など、学生が長時間にわたり実験等に従事する中で必要な都度、教員と調整の上、指導を受ける授業形態です。
応談 by appointment	少人数のセミナー的な科目など、おおむね定期的に行われるが、教員の都合などで日時を変更することが少なからず生じるような授業形態です。

(令和9年度から)

応談 by arrangement	状況に応じて柔軟に授業日程が決定される授業形態です。 例：少人数のセミナー的な科目、実験指導的な科目、実技科目、 インターンシップ科目、語学研修科目、卒業研究など。
----------------------	--

②「NT」を「フルオンデマンド」に変更します。

理由：「NT」は、「Non-timetabled attendance is possible」の略称ですが、「開設授業科目一覧」等で確認しないと何の略称なのか分かりにくかったため、曜時限欄の表記を授業方法（完全オンデマンド）に基づき「フルオンデマンド」という表記に変更します。

(留意事項)

- 曜時限欄の表記が「フルオンデマンド」となるのは、オンライン（オンデマンド型）で授業を行う科目のうち、曜時限の指定がないものであることはこれまでと同じです。オンデマンド型の授業であっても曜時限の指定がある科目は、曜時限欄が「フルオンデマンド」以外の表記となります。
- これまで通り、シラバスに示されている受講推奨曜時限等を目安として、レポート提出期限等に注意しながら、計画的に履修してください。
なお、受講推奨曜時限と同一曜時限に開講される他の科目の履修は可能ですが、提出課題等に無理がないか事前によく考えたうえで計画的な履修を心がけてください。

《ご注意ください！！》

KdB を上記変更に対応させるにあたり、令和8年度以前に開講している科目の曜時限欄の表記についても、令和8年8月中に変更後の表記に切り替わります。

※「随時」を除く。

[KdB の仕組み上、年度ごとに曜時限欄の表記を変更することができないため]